

暮らし直撃!



国保税 17%引き上げ

県下トップの高額に

すずか民報

第143号
2016年4・5月

日本共産党鈴鹿市議団 市議会報告

「高くて払えない」「生活できない」の声きかず

3月市議会に末松市長は、2016年度国保税の大幅引き上げの議案を出し、本会議採決で賛成21、反対10で可決されました。今年の税額は7月に各世帯へ通知されますが、平均で17%、世帯によっては25%もの増税になり、市民の暮らしをさらに圧迫します。

この増税案に対して、市民団体・鈴鹿市社保協(社会保障推進協議会)などが昨年末から何度も、市に引き上げ撤回を求めてきました。また諮問機関である市国保運営協議会でも、委員から引き上げ反対の意見が強くありましたが、これらの声は全く反映されませんでした。

赤字を市民に負わせず、国保への財政支援を

共産党市議団

市は国保税引き上げの理由として、約6億円の年間赤字が出ることをあげ、その赤字をすべて市民の負担増税に転嫁しました。共産党市議団は、本会議

■国保税引き上げ・事例別税額比較

条件	所得	現行税額	引上げ案	差額
70代単身	100万円	122,200円	140,300円	18,100円 (14.81%)
60代夫婦	100万円	166,400円	208,700円	42,300円 (25.42%)
30代夫婦子2人	200万円	272,200円	325,800円	53,600円 (19.69%)
40代夫婦子2人	200万円	325,200円	406,100円	80,900円 (24.88%)
50代夫婦	300万円	402,300円	503,000円	100,700円 (25.03%)

■協会けんぽ・国保の保険料(税)比較

所得	協会けんぽ	国保・現行税額	国保・引上げ案
200万円(給与312万円)	177,046円	325,200円	406,100円
300万円(給与443万円)	258,491円	468,300円	584,600円
400万円(給与568万円)	332,125円	574,300円	716,600円

世帯構成 夫(40才・会社員) 妻(40才・無職) 子2人

国保税引き上げ議案に反対した議員(敬称略)

橋詰圭一 森川ヤスエ 石田秀三 板倉操 森田英治
大窪博 明石孝利 永戸孝之 中村浩 森雅之

を抑える努力を求めました。国保会計への繰入れは行なって当然

特別会計の国保にたいして市税を投入(繰入れ)するのは、「他の健保加入者に負担をかけることになる」ので、すべきでないとの議論があります。

しかし、例えば市職員の健保には、雇用人負担として掛金の半分(市税)が支出されています。民間の健保でも、雇用人負担の掛金は全額経費として税控除されて法人市民税が安くなり、形を変えた市税支出です。また、他の健保を抜けた

人は必ず国保に入ります。このようなことから、他の健保と比べて2倍も本人の負担が高い国保に、市として財政支援することは当然のことです。

市長、議員など、特別職の手当はアップ

3月議会に特別職の期末手当を年間0・1月分引き上げる議案が出され、賛成多数(反対8)で可決されました。市長は年間12万7千円、議員は5万8千円アップとなります。



石田 秀三 市議

特別職手当アップに反対した議員(敬称略)

橋詰圭一 森川ヤスエ 石田秀三 板倉操 森田英治 明石孝利 伊東良司 中西大輔

4月からCバス運賃も値上げ

市内西部・南部地域と中心部を結んで走っているCバスの運賃が、各区分100円引き上げられました。車に乗れない高齢者や高校生など「交通弱者」の足として発足して15年、100円〜300円の運賃だった

のが、200円〜400円となりました。

利用者が地域の意見も聞かずに値上げする市のやり方に対して、12月議会に「鈴鹿市民のコミバスをよくする会」から、値上げ中止を求める請願が出されましたが、賛成少数で不採択となり、新年度からの値上げとなりました。

「災害時要援護者」の避難訓練を

いつ起きてもおかしくないと言われていた「南海トラフ巨大地震」ですが、橋詰圭一議員は3月議会会で「津波防災・避難訓練について」質問しました。

鈴鹿市の浸水予想地域内の小中学校では、毎年3、4回の避難訓練が行われているが、市内の自治会が行う避難訓練は年間10回、参加者は約630人（平成26年）と、きわめて少なく、

その中でも、東日本大震災などの大規模災害で犠牲者の多い、お年寄りや障がい者など「災害時要援護者」の方の避難訓練は、まったく行われていません。この点について橋詰議員は、2つの提案をしました。

①「けん引式車いす補助装置」JINRIKI（じんりき）を希望者へ無償貸与



橋詰 圭一 市議

し、災害時要援護者の避難訓練を求めました。

試験的に3台購入し、避難訓練などで使い勝手や効果などについて検証していく、との答弁でした。

②自治会単位での避難訓練について、行政として実態把握をして、訓練も促すべきではないか。

防災訓練の際における事故などに対する共済制度である「災害補償等共済制度」を、掛け金は鈴鹿市が負担し自治会で行う防災訓練にも適用する。この周知を通じて避難訓練を促していくとの答弁でした。



■さっそく購入されたJINRIKIに試乗しました。災害の避難時に円滑に活用するためにも、車椅子の方は普段から常備して、行楽とかにも活用が求められます。熊野市では希望者に無償貸与されています。

子ども医療費

3歳まで窓口無料
中学生まで通院も無料
来年4月からスタート

子ども医療費3歳までの窓口無料化と、中学生まで通院も無料化が、来年4月から鈴鹿市でも実施されます。

3月議会会で森川ヤスエ議員は、どちらも前進ではあるけれど、中学生の通院助成を1年先送りする理由はない。一日も早くという保護者の願いにこたえて、来年までのばさずに今年度から実施するよう求めました。

また、医療費を窓口でいったん支払ってあとから戻してもらおう方式は、数か月分の医療費を立て替えさせることが問題です。経済的基



森川ヤスエ 市議

盤の弱い、障がい者やひとり親のみなさんの家計を圧迫し、一番支援が必要な低所得者ほど病院に行けなくなりそうです。あとで返金する費用はきちんと予算計上されているので、窓口無料にしても市が支払う金額に大きな差はありません。

森川議員は、3歳にこだわる必要は全くないことを指摘し、子ども医療費を含む福祉医療の全体を窓口無料にするよう求めました。



時代錯誤の鈴鹿市「人権意識調査」

鈴鹿市は2月末、20才以上の市民3千人に「人権問題に関する市民意識調査」というアンケートを送りました。

その内容は「世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか」「同和地区出身者

消えたままの横断歩道や停止線

多くの方から、横断歩道の白線や止まれる白線が消えていて横断するのが怖いとの訴えが市議団に寄せられています。

3月議会会で森川ヤスエ議員はこの「消えたままの白線」を早く元通りにするよう質問しました。

市答弁で、停止線や横断歩道などは県公安委員会の仕事であること、県の予算があまりにも足りないために、5年前からの要望の積み残しも解決されず遅れて



百々川橋北詰交差点の横断歩道と停止線

5歳児検診モデル事業始まる

就学時健診や小学校入学後に子どもが発達しようがいと診断された場合、保護者の多くは「もっと早く知っていたらいい」との思いを強く持ちます。

市議団は、鈴鹿市でも保護者の願いにこたえて5歳児検診を行なうことを求めてきました。やっと新年度予算に「集団適応検診」としてモデル的に保育所、幼稚園の二園で実施をする予

**生活相談など
お気軽に連絡下さい**

石田 秀三 ☎371-0423
鈴鹿市伊船町 2751

森川ヤスエ ☎384-3740
鈴鹿市矢橋3丁目10-34

橋詰 圭一 ☎386-8561
鈴鹿市岸岡町 2874-1



算が計上されました。森川ヤスエ議員は、検診後の支援体制を充実するよう保護者の声を聞きながら、引き続き取り組んでいきたいと語っています。